

大川原

ライフ

LIFE[®]

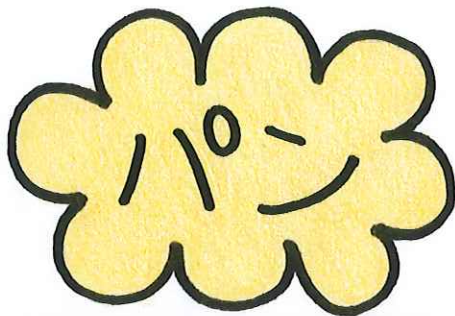
2020年2月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

こんにちは👋大川原でのお店といえば
仮設店舗で営業する鈴木商店、たぎもと
電器、ヤマザキショップですが、実は日によって
移動販売もあるんです👍

来てます👍



まず月曜日はパン屋「ポーターボヌール」が
中通りから来てくれます。お昼の時間、
大熊ホールに並ぶトレーいっぱいパンを
見ると心がおどります👍スイーツ系や惣菜
ものなど種類が豊富で、お弁当があっても
おやつに買ってみたい🎵

移動販売



どれにするか迷っちゃう！

毎週来るのを
楽しみにしています。
甘さがやみつきになる
「クリームボックス」は
イチオシです！そのほか
食パンも朝食用に
買っています。ふわふわ
もちもちです👍



20代女性職員



郡山名物

クリームボックス



水曜日は役場馬場駐車場にキッチンカーが登場！楯葉町に
店を構える豚丼専門店「豚壺」です。元々は富岡町でうなぎ
料理店として営業していましたが震災のため閉店。秘伝の
タレも失ってしまいましたが、
残っていたレシピで当時の味を
復活させたそうです👍ボリューム



福島県産の豚肉・米を使用！

満点の豚丼は特に男性に人気で、復興に携わる作業員
のかたも買いに来ます。「これからもっと販売の日を増やしたい」
とのこと。#嬉しいかぎりです🎵



雨でも行列ができるほどの人気！

⚠️ 移動販売の内容は変わる可能性があります ⚠️

野菜

木曜日は福島市から佐藤宏美さんが農家から野菜やくだものも仕入れてやってきます。

このブロッコリーは今朝とれたものですよ

大きくて立派な野菜がいっぱい!



佐藤さんは毎週日曜日、JR福島駅前生産者が農作物を販売する「青空市場」を開催しています。

生鮮食品を売るお店がない大川原で、新鮮な野菜を昼休みに買えるのはありがたい! 大熊ホールのほか復興公営住宅でも人気のようです ↑



町内でとれたもち米を味わいました

1月13日、役場前広場で「里がえりもちつき大会」が開催されました。もち米は大川原で実証栽培されたものです。約350人のかたが集まりつきたてのもちを堪能しました。

初めてもちつきを体験しました。杵ってあんなに重いんですね! 自分でついたもちはずごくおいしかったです。震災前は正月になると親戚宅に集まり、みんなでもちを食べていましたが、今はそれもできなくなってしまいました。今回のもちつき大会ではその時の記憶がよみがえり懐かしく、ほっこりした気持ちになりました。また来年の開催を楽しみにしています!



／モチノキーン／



／一緒に／



／あーんっ／



／あーんっ／



佐藤



／こっちにも投げてー!／



／最後はみんなで集合写真!／